

公民館だより さくらぎ

平成19年 8月号

No. 233

桜木公民館

周南市城ヶ丘2-4-21

TEL 0834 (28) 5973

FAX 0834 (29) 0788

sakura-ko@city.shunan.yamaguchi.jp

ラジオ体操会場（城ヶ丘公園）に
180名が集う 7/25

三世代が交わる
朝の社交場



子どもが伸びる でっかい夏!



子ども
囲碁将棋教室
初物づくめの学
習に引き込まれて
いく 7/24



油絵講座参観

- ・楽しそうだなあー
- ・やってみたいなあー 7/10

7月の活動記録簿

ラジオ体操
(7/23)

ラジオ体操のねらい
大人の方に「おはよう！」
の元気なあいさつができる
ようになる。



「防災・防犯のまち桜木」7月の学習会

「安全安心まちづくり」
推進大会 (7/1)



救急救命法講習会
(7/1)



ひとこと

こんな勉強をしました

【熱中症の応急手当】

- 涼しい環境に避難させる。
・風通しのよい日陰やクーラーが効いている室内など。
- 衣服を脱がせ、体を冷やす。
・風があたるように衣服を脱がせ、皮膚に水をかけ、濡らしてから風をあてる。
・氷嚢があれば、首、脇の下、太ももの付け根などにあてると冷却の助けになる。

ポイント

- ※水分、塩分を補給する
- ※自分で水が飲めない傷病者は、ただちに119番通報する
- ～応急手当講習テキストから抜粋～

とあの山登山道整備作業

~~7/7~~・~~7/14~~
両日とも雨で中止

【誘う人】

滑ルート・平原ルートともに夏草が繁っています。後日応急作業をする予定です。ご協力ください。

【諾する人】

子ども囲碁将棋教室 (7/24)

22名の子どもたちが28通りの楽しみ方を勉強しました。



地区インディアカ大会 (7/15)

台風で心配された大会も、みなさんの元気なプレーで、楽しい一日となりました。

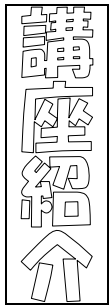


優勝

インディアカ大会

- Aコート 城2A
- Bコート 平原B
- Cコート 城2B
- Dコート 城4B

運営委員さんによる



《リレー方式》



『日本画同好会』

次回は...



しとどなる梅雨は、美しい紫陽花にいやされながら、今は早朝清しく咲く朝顔に目覚めを促され一日がスタートして居ります。

私たちは、季節のうつろいに合わせ、自然からモチーフをいただき、制作いたします。或る人は、家族の成長の記録で有ったり、又、日々の暮らしの「コマ」を、それぞれが今描きたいものを、大切に大切に描いて居ります。

この同好会も、桜木公民館で始めて、早くも、十五年経ってしまいました。メンバーも少々くたびれて参りましたが、これからも、生活の一部、良き時間として過ごし、その上良い作品ができれば、幸せです。機会が有れば、どうぞ、ご覧になってください！

(代表者 中村 恭子 記)

開催日時

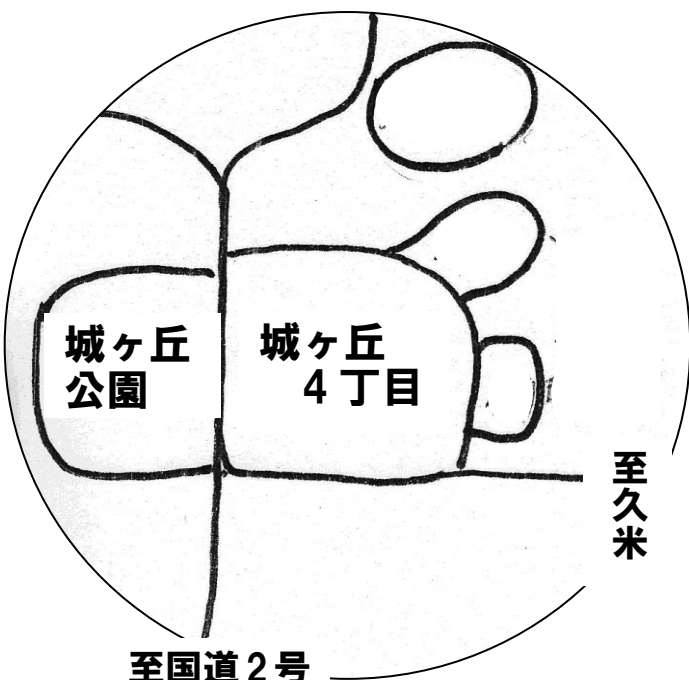
毎月第2・第4木曜日
午後1時 ～ 4時

城ヶ丘4丁目に 新団地誕生 !!

かねてより造成中であった、城ヶ丘4丁目の一角に、新団地が完成し、この度桜木地区の住民となりました。

新団地は2ヶ所あり、17班が9戸、19班が15戸で旧戸数と合わせ、桜木地区最大の275戸数となります。

皆様の仲間として、今後ともどうぞよろしく願いいたします。



至久米

至国道2号

交通安全作品募集

年間スローガン(標語)

☆一般の部、子どもの部

締め切り 19年9月30日まで(必着)

交通安全ファミリー作文

☆小学生の部・中学生の部

締め切り 19年9月10日まで

(当日の消印有効)

☆父親・母親、一般、高齢者の部

締め切り 19年9月30日まで

(当日の消印有効)

詳細は、公民館の募集案内をご覧ください

8月の公民館花壇



メランポジュウム

見どころポイント!

アメリカ南部から、メキシコにかけての地域が原産地だそうです。昨年植えていた桜木公民館花壇でのこぼれ種を拾って植えてみました。種も苗も桜木公民館産です。こんなに見事に育ってくれましたが、気候がよく似かよっているのでしょうか? 葉っぱの薄緑と黄色い花の色合いが素晴らしいですね。

8月 さくらぎカレンダー

2日(木) 夏休み子ども教室「風鈴をつくろう」(9:30~)

3日(金) 夏休み子ども料理教室②(10:00~)

おじさんと遊んだ。
おばさんと話した。
これが大切な勉強です。

「はじめての
公民館の勉強です。
ドキドキします。」

14日(火)・15日(水)

桜木公民館事務室お盆休み

20日(月) 向道湖福祉農園作業[老連]

9月の案内

1日(土) 三世代交流スポーツ大会

《俳句コーナー》

- ・朝顔の花を数へて 母子歩む
- ・朝蟬の 耳の中まで 峡たにの宿
- ・風に向き 田中に浮きし 群蜻蛉
- ・あれやこれ 想い刻過ぐ 門涼み
- ・誕生日 おきまりコース 鰻飯

(一洋)

【雑記帳】

「孟母三遷(もつぱ さんせん)」

孟子の母は孟子を産んだ後、まず墓地の近くに住むと、孟子は埋葬の真似ばかりし、市中に引越すと商売の真似ばかりするようになったので、三度目には学校の近くへ移転したと言われています。「子どもの教育には環境が大切である」という教えです。

時がゆったり流れていた大昔の子どもの時代には、誰もが自然にドップリ浸かり、環境から学びながら人間性を高めていったものです。

私も家が国鉄の駅前であったことから、駅のおじさんと仲良しになり、多くの財産を身に付けることができました。キップを売る仕事、汽車の位置を知らせる機械の仕事、停車ホームを変えるポイントの仕事など、駅員さんに次から次へと教えてもらいました。

蒸気機関車のおじさんともお話ができる程の顔見知りになりました。上り下りがすれ違つ5分間停車のときなどは、機関車に引張りがあけてもらい、石炭の入れ方や真っ赤に燃える釜を見せてもらったものです。

「今日は、岩国まで乗せてあげよう!」私の人間性が変わる程の? 猛烈な衝撃でした。

子どもは、ひと夏ごとに何か大事なものを身につけていくように思います(18年9月号)

さあ、好奇心がうすくでっかい夏休みです。